

(1) 児童観

男子10名女子12名計22名のコースである。学習に意欲的に取り組もうとする児童が半数以上を占めている。

課題については、考えを進める手がかりをもとに、既習内容を活用しようとする姿が見られるようになってきた。考えの発表については、ペアで検討した上で全体交流をしているが、活性化への途上である。授業終末には、見通しをふり返り、学習を書いてまとめたり、適用問題をこなしたりながら習得と活用に努めている。

レディネステストの結果、面積の概念と普遍単位については、理解できていた。また、面積の量感も概ね身につけている。長方形、正方形の面積の求め方とその公式については、理解されていた。また、垂直や平行な直線・平行四辺形・ひし形の作図については、よく習得されているが、既習の図形(平行四辺形・台形・ひし形)について、弁別はできるが、その概念を用語を使つて的確に説明できるところまでは到達していない状況が見られる。

(2) 指導観

課題に向き合った際に、これまで(前時)の学習とどこが異なっているのか、似ている点はどこか、困るのはどういうところかという視点を大切にして、既習と関連づけて解決に臨んでいる。本単元でもこうした考え方を大切にしたい。

この面積の学習では、三角形分割や等積・倍積変形の求め方があり、その方法を多様に考え・学び合うことを楽しませたい。さらに、面積公式を忘れても、公式を覚えている既習の図形に帰着して求積していけるよう、本時の台形の学習などでも公式をつくる過程を大切にしたい。

そのためには、次時の問題予告をして自力解決の時間を少しでも多く与え、面積公式を知らない図形を<分ける・ずらす・裏返す>活動を通して既習の公式活用を促したり、ペア交流により自分の考えを説明したりする算数的な活動を確保していく。説明の際には、算数用語を使ってわかりやすく伝えられるよう、<算数宝箱>での既習内容の提示を心がける。特に、「底辺」と「高さ」の概念を言葉や図でしっかり定着させたい。

本コースは、その上で、より速く容易に立式や計算ができる公式のよさに気づくところまでをめざしたい。よって、本単元で育成したい活用力は、「図形の構成要素の特徴に着目して観察し的確に捉えさせ、既習の公式を活用するための分割・変形」の思考力・判断力・表現力とする。

なお、単元を通して評価規準・見取りのポイントによる評価を行い、児童の学習実態を把握しながら、指導を積み重ねていくことにする。

【座席表】

黒板

1	2
---	---

9	10
---	----

17	18
----	----

3	4
---	---

11	12
----	----

19	20
----	----

5	6
---	---

13	14
----	----

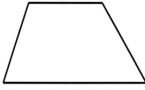
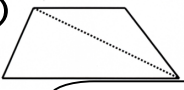
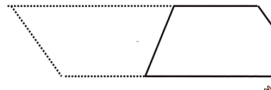
21	22
----	----

7	8
---	---

15	16
----	----

6 本時の学習 (7/12)

- (1)ねらい 台形の面積の求め方を考え、面積を求める公式を理解する。
- (2)主な評価規準 台形の面積の公式を理解している。 《知識・理解》
- (3)育てたい活用力 三角形分割や等積・倍積変形の考えを、用語や図を使って説明する。
- (4)準備 提示用の台形 ワークシート 練習問題用紙 作業用台形
- (5)展開

段階	学習活動 <主な発問> ・児童の意識	支援○ 主題とのかかわり□
<p>つかむ 5分</p> <p>考える 10分</p> <p>学び合う 15分</p> <p>まとめる 15分</p>	<p>1 課題をつかみ、見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">  <p>台形の面積の求め方を考えよう。</p> </div> <p><どういう考え方をすればいいかな。></p> <ul style="list-style-type: none"> ・似ている学習を思い出す。 ・困ることは何か考える。 ・習ったことを使えないか考える。 ・今までに習った図形に変形して考える。 <p>2 既習の図形につなげて考える。</p> <p><台形の面積の求め方を図や言葉で考えよう></p> <ul style="list-style-type: none"> ・三角形に分けよう。 ・平行四辺形に変形してみよう。 ・長方形にできないかな。 <p>3 台形の面積の求め方を説明し合う。</p> <p><ペアで出た考えを伝え合おう。></p> <p><台形の面積の求め方について発表しよう。></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>①</p>  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 100px; margin: 5px auto;"> <p>対角線で三角形ふたつに分割して面積を求めてからたすんだな。</p> </div> </div> <div style="text-align: center;"> <p>②</p>  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 100px; margin: 5px auto;"> <p>同じ台形をひっくり返してくっつけて平行四辺形に変形したね。</p> </div> </div> </div> <p><最初に立てた見通しは、どうだったかな。></p> <ul style="list-style-type: none"> ・習った図形にすれば公式を使って求められる。 ・台形でも三角形や平行四辺形の公式を使える。 <p>4 学習をまとめる。</p> <p><台形の面積の公式を決めよう。></p> <ul style="list-style-type: none"> ・①は 底辺(上底)×高さ÷2+底辺(下底)×高さ÷2 ・②は (上底+下底)×高さ÷2 ・どっちがいいかな。実際に計算してみよう。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>台形の面積は (上底+下底)×高さ÷2 で求められる。</p> </div> <p>5 学んだことをつかって問題を解く。</p> <p><練習問題の台形の面積を求めよう。></p> <ul style="list-style-type: none"> ・台形の面積は上底・下底・高さの長さが分かれば、(上底+下底)×高さ÷2 で求められる。 	<p>○前時に台形の求積問題を出しておく。</p> <p>○前時の学習までに台形の面積を求めたいという感想が出ていれば紹介する。</p> <p>□困ること(台形の面積を求める公式を知らない)を意識させるため吹き出しで提示する。</p> <p>□〈考えを進める手がかり〉や〈算数宝箱〉を活用する。</p> <p>□立てた見通しは、それが可能だったかどうか後で確認できるように提示しておく。</p> <p>□先に、ペアで、相手に分かるように用語や図を使って伝え合い、分からない点は質問する。</p> <p>□よく聴くことの留意点をおさえる。(友達の考えを理解しようとしながら・自分の考えと比べながら・わからないことは質問しようとしながら)</p> <p>○学び合いを焦点化するため、2つの考えを紹介し、同じ考えのものに挙手させる。</p> <p>□代打説明や復唱、リレー発表により、用語や図を使っての説明に取り組む。</p> <p>○上底(2cm)・下底(5cm)・高さ(4cm)の値を知らせ、面積を計算し、公式を決める。</p> <p>□最初に立てた見通しについてどうだったかふり返りをする。書いてまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>◇評価場面 台形の面積の公式を理解している。</p> <p><手だて> ↑ 公式を使うようすすめる。 → 高さが外にある台形の問題を与える。</p> <p><評価方法> ノート</p> </div> <p>○形が変わった台形でも公式が使えることへの理解につなげる。</p> <p>○長さが分からない構成要素のある問題を用意しておく。</p>